

理 事 会 議 事 録

- 1 日 時 令和8年7月6日（月）
午後1時58分から午後2時35分まで
- 2 場 所 東京都渋谷区神宮前五丁目53番67号 コスモス青山4階
東京都住宅供給公社 特別会議室

3 出席者

理 事 長	浜 佳 葉 子		
副 理 事 長	林 健 一 郎	理 事	小 野 幹 雄
理 事	菅 原 雅 康	理 事	齊 藤 広 子
監 事	居 原 健 一	監 事	友 田 順

理事の総数5名 出席理事の数4名（うちオンライン出席1名）

以上のとおり、出席があり、理事会規程第5条第2項により理事会は成立した。
理事長浜佳葉子が議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

4 議 案

- 第1号議案 令和7年度 業務報告について
- 第2号議案 令和7年度 決算について
- 第3号議案 東京都住宅供給公社情報セキュリティ基本方針の制定について
- 第4号議案 東京都住宅供給公社役員規程の一部改正について
- 第5号議案 東京都住宅供給公社職員就業規則の一部改正について
- 第6号議案 東京都住宅供給公社職員の退職金に関する規程の一部改正について

報 告 事 項

内部統制・リスク管理について

令和7年度監査報告について

5 議事内容

(1) 第1号議案から第2号議案について

第1号議案及び第2号議案について、総務部長が議案の説明を行った。

続いて、議長が意見等を募ったところ、以下のとおり発言があった。

<菅原理事>

公社住宅の「J K K住まいるアシスタント」によるコミュニティ形成のきっかけづくりについて報告がありました。

この取組は、今東京都のほうでも開催されている住宅政策審議会企画部会におきましても、そのノウハウや実績が評価する意見が出されています。

また、公社で培われてきた入居者支援やコミュニティ形成の取組については、公社住宅の居住者にとどまらず、地域全体へ広げていくことが期待されているところです。そうしたことも踏まえまして、公社として都営住宅をはじめとする公的賃貸住宅団地やその周辺地域も含めたコミュニティ形成支援にどのような役割を果たしていくのか、今後の展望などあれば伺えればと思います。

<管理改善・コミュニティ担当部長>

当社では、これまでも健康で心豊かな生活の支援や地域コミュニティの活性化を目的として、公社住宅に加え、近隣の都営住宅も対象とした子育て世帯同士の交流のきっかけづくりや、医療機関と連携したフレイル予防などの各種イベントを公社住宅のコミュニティサロンなどで実施してきました。

今後は、公社住宅事業で培ったコミュニティ形成のノウハウを都営住宅にフィードバックするとともに、都営住宅で実施されている東京みんなでサロン事業との連携強化や、公社住宅・都営住宅やその周辺地域を含めた、コミュニティ活性化事業の企画運営に取り組んでいく必要があると認識しています。

現在、公社住宅に近接する都営住宅やその周辺にお住まいの方々も視野に入れ、子育て世帯や多世代が交流できるコミュニティ活動の展開に向け、効率的な執行体制や必要な人材、財源について検討を進めています。

当社としては、都営住宅との連携を含め、入居者や地元自治体、地域で活動する団体等をつなぐコーディネーターとしての役割を担い、地域コミュニティの活性化の推進に努めて参ります

<菅原理事>

ぜひ積極的に進めていただければと思いますので、よろしくお願いします。

<齊藤理事>

東京都住宅政策審議会の会議に出ておまして、やはり地域の今おっしゃられた活動するコーディネーターとしての役割が多面的に求められているというのを感じておりますので、ぜひそういった意味で、地域を活性化させていくような、そんな活動にも今後展開していただくことの可能性をご検討いただけたらと思っております。

<管理改善・コミュニティ担当部長>

ご意見いただいた通り、地域を含めまして、コーディネーターとしての役割を多面的に展開すべく、地域活性化に向けて検討していきたいと思っております。

説明後、特に意見等が無かったため、議長は、第1号議案から第2号議案の可否を諮ったところ、異議無く、これを議決した。

(2) 第3号議案から第6号議案について

第3号議案から第6号議案について、総務部長が説明を行った。

説明後、特に意見等が無かったため、議長は、第3号議案から第6号議案の可否を諮ったところ、異議無く、これを議決した。

(3) 報告事項について

総務部長が「内部統制・リスク管理について」説明を行った。

続いて、議長が意見等を募ったところ、意見等はなかった。

監査室長が「令和7年度監査報告について」説明を行った。

続いて、議長が意見等を募ったところ、意見等はなかった。